



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社篠崎屋

コード番号 2926 URL <http://www.shinozakiva.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 樽見 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営企画部長兼IR室長 (氏名) 矢立 実

TEL 048-970-4949

四半期報告書提出予定日 平成29年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,125	11.6	41	—	41	—	31	—
28年9月期第1四半期	1,008	△15.2	2	△93.1	3	△92.7	△8	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	2.23	—
28年9月期第1四半期	△0.57	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第1四半期	1,741	1,206	69.3	85.23
28年9月期	1,563	1,189	76.0	83.99

(参考)自己資本 29年9月期第1四半期 1,206百万円 28年9月期 1,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	1.00	1.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年9月期の配当予想額につきましては、業績予想の開示を行っていないことから、現時点において未定とさせていただきます。配当につきましては業績予想の見通しを開示した際にお知らせいたします。

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店舗等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び同通期につきましては同第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期1Q	14,436,600 株	28年9月期	14,436,600 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年9月期1Q	278,800 株	28年9月期	278,800 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	14,157,800 株	28年9月期1Q	14,216,600 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ、「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の売上高は1,125,177千円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益は41,241千円（前年同四半期は営業利益2,851千円）、経常利益は41,242千円（前年同四半期は経常利益3,010千円）、四半期純利益は31,637千円（前年同四半期は四半期純損失8,110千円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当事業年度におきましては、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

商品につきましては、消費者にとって価値のある商品づくりを目指し、豆腐、豆乳、おから等を使用した「茂蔵オリジナル商品」、それ以外の厳選された「茂蔵定番商品」、協力工場等からの「本日のお買得品」の3つに分類し、この中でも特に茂蔵でしか購入することのできない「茂蔵オリジナル商品」の新商品開発及び既存商品のリニューアルを強化してまいります。

当第1四半期においては、「茂蔵オリジナル商品」としてデザートに注力し、「濃厚抹茶ティラミス」、「生クリーム大福」、「豆乳パンケーキ」やクリスマスには2種類のケーキを開発・販売しました。また、既存商品につきましては、量目をボリュームアップ等することで価格の見直しを行ってまいります。

店舗におきましては、前事業年度に実施したパッケージの統一化による「より分かり易く」することによる茂蔵ブランドの認知度向上を引き続き推し進め、多段階の有効活用を検証してまいります。なお、出店につきましては、新業態を立ち上げるために継続して既存店舗での検証を行い、店舗運営等のマニュアル作成に取り組み出店準備を進めてまいります。

これらより、1店舗平均の1商品あたり買上単価は前年同四半期比107.7%となったことが大きく貢献し、1店舗平均の顧客単価は同109.2%となり売上高の増加要因となりました。

売上総利益率につきましては、価格の見直しを行ったことで商品売上原価率が前年同四半期比1.0P改善したことが要因となり、30.5%と前年同四半期と比較し0.8P上昇しました。

営業利益率につきましては、売上高が増加したこと及び前事業年度において不採算店舗を閉店したことにより固定費の売上高構成比が人件費率が1.0P減、同家賃比率で0.4P減と販管費率が2.1P減少したことが要因となり、営業利益率は2.8P上昇し、前年同四半期と比較し27,699千円の増加となりました。

以上の結果、小売事業の売上高は933,489千円（前年同四半期比3.5%増）、セグメント利益（営業利益）は61,050千円（前年同四半期比83.1%増）となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は191,687千円（前年同四半期比79.2%増）、セグメント利益（営業利益）は9,767千円（前年同四半期比0.02%増）となりました。

なお、当第1四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第1四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	55	—	1	54
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	133	28	2	159
合計		188	28	3	213

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して177,886千円増加し1,741,556千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加142,137千円、売掛金の増加33,529千円及び商品の増加19,892千円等によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して160,407千円増加し534,918千円となりました。主な要因は、買掛金の増加101,493千円及び未払金の増加68,944千円等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して17,479千円増加し1,206,638千円となりました。これは四半期純利益31,637千円の計上と配当金14,157千円の支払により利益剰余金が17,479千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び同通期につきましては同第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	328,838	470,976
売掛金	111,808	145,338
商品	65,422	85,314
貯蔵品	1,655	1,742
その他	45,350	38,900
貸倒引当金	△40	△50
流動資産合計	553,035	742,222
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	121,855	117,028
構築物（純額）	9,705	9,356
工具、器具及び備品（純額）	26,815	24,846
土地	562,970	562,970
その他（純額）	5,754	5,375
有形固定資産合計	727,101	719,578
無形固定資産	19,666	18,421
投資その他の資産		
敷金及び保証金	184,942	184,870
その他	79,162	76,691
貸倒引当金	△239	△229
投資その他の資産合計	263,866	261,333
固定資産合計	1,010,634	999,334
資産合計	1,563,669	1,741,556
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,599	334,093
未払金	56,896	125,841
未払費用	42,730	43,470
未払法人税等	26,678	11,227
債務保証損失引当金	8,550	7,550
その他	5,960	11,640
流動負債合計	373,415	533,823
固定負債	1,094	1,094
負債合計	374,510	534,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	120,446	120,446
利益剰余金	109,383	126,863
自己株式	△40,896	△40,896
株主資本合計	1,188,934	1,206,414
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	224	224
評価・換算差額等	224	224
純資産合計	1,189,159	1,206,638
負債純資産合計	1,563,669	1,741,556

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,008,572	1,125,177
売上原価	719,332	798,334
売上総利益	289,240	326,842
販売費及び一般管理費	286,388	285,601
営業利益	2,851	41,241
営業外収益		
受取利息	16	9
償却債権取立益	90	—
受取保険金	105	—
その他	6	26
営業外収益合計	218	36
営業外費用		
その他	59	35
営業外費用合計	59	35
経常利益	3,010	41,242
特別利益		
固定資産売却益	410	—
債務保証損失引当金戻入額	500	500
特別利益合計	910	500
特別損失		
店舗閉鎖損失	6,710	1,246
特別損失合計	6,710	1,246
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△2,789	40,496
法人税、住民税及び事業税	5,321	8,859
法人税等合計	5,321	8,859
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,110	31,637

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期累計期間（自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	901,613	106,959	1,008,572	—	1,008,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	901,613	106,959	1,008,572	—	1,008,572
セグメント利益	33,351	9,766	43,117	△40,265	2,851

(注) 1. セグメント損益の調整額△40,265千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用40,265千円であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	933,489	191,687	1,125,177	—	1,125,177
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	933,489	191,687	1,125,177	—	1,125,177
セグメント利益	61,050	9,767	70,818	△29,576	41,241

(注) 1. セグメント損益の調整額△29,576千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用29,576千円であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。